

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網で1～6回目、後期冷蔵網では1回目、秋芽網では6～8回目を実施しています。植物プランクトンは先週から引き続き、少ない状況です。栄養塩の増減は、漁場によりまちまちですが、知多西岸南部、知多東岸地区及び西三河地区中央部では栄養塩が「やや少ない～少ない」状況です。知多東岸地区に続き、知多西岸地区や東三河地区の一部でも網あげが始まりました。

先週から暖かい日が続いた影響か、あかぐされ病が散見されるところの報告が各地から寄せられています。今後も、適切な干出や早期摘採等による網管理を心がけ、少しでも長い期間摘採できるよう努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月28日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	9.6℃
	平年差	+1.4℃

<水温> 2月29日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	10.3℃
	平年差	+0.2℃

<潮位偏差> 2月28日

名古屋港	日平均偏差	-3 cm
	5日平均偏差※	+6 cm

※2月24日～28日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや多い、中部多い、南部: やや少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない～散見
知多東岸地区	西部: やや多い、中央部: やや少ない、東部: 多い	なし	植物プランクトンは散見～少ない
西三河地区	多い～やや少ない	なし	植物プランクトンは散見
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間予報より 予報期間: 2月29日から3月6日まで)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、期間の前半と後半は平年よりも高めまたは平年並みですが、期間の間では平年より低くなる見込みです。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～6回 後期冷蔵: 1回	100～1,100枚	色調はまずまず 漁場によりB・C系統増加	一部でカモ	あかぐされ病散見 一部で秋芽生産
知多東岸地区	秋芽: 6～8回 冷蔵: 2～3回	500～800枚	色調回復傾向	なし	あかぐされ病散見 一部で生産終了
西三河地区	冷蔵: 5～6回	500～800枚	色調は漁場によりば らつくが概ね良好	なし	病障害なし
東三河地区	秋芽: 6回	700～1,000枚	一部でガサ、色調 低下がみられる	なし	あかぐされ病散見 一部で生産終了

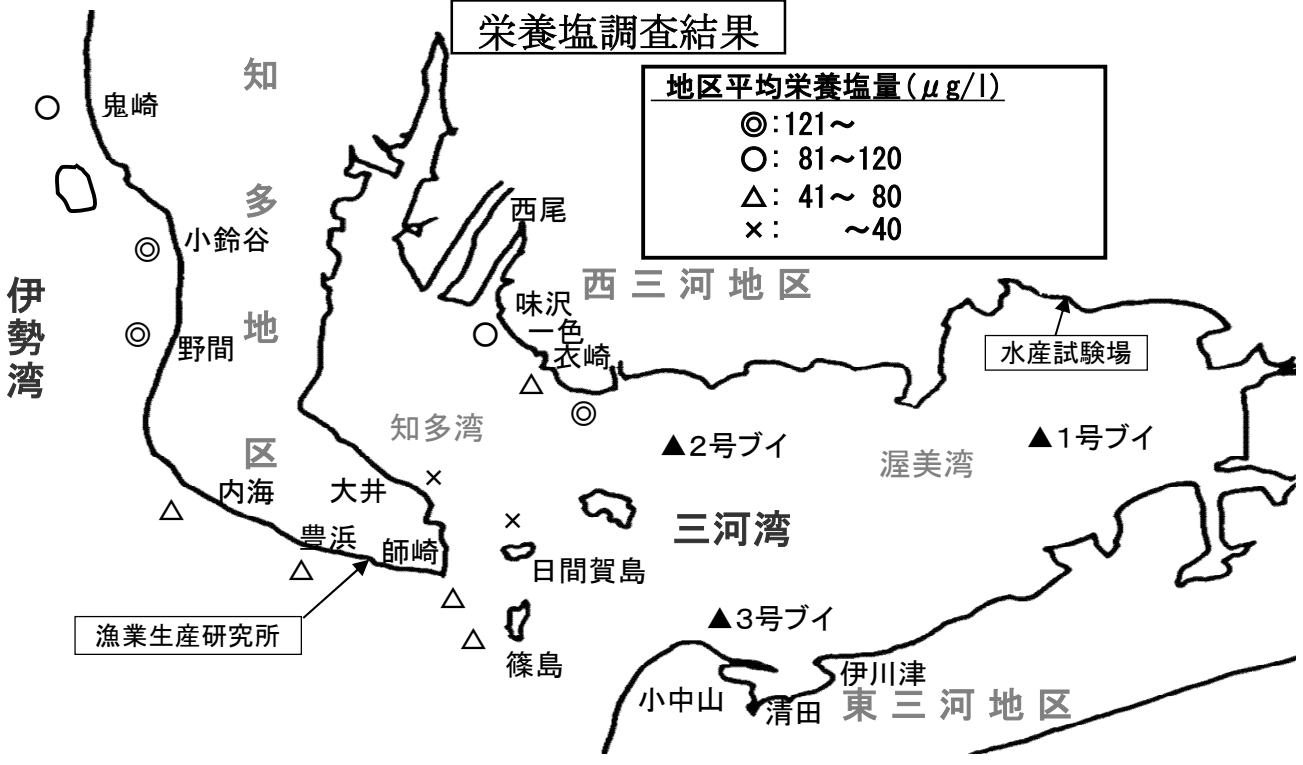
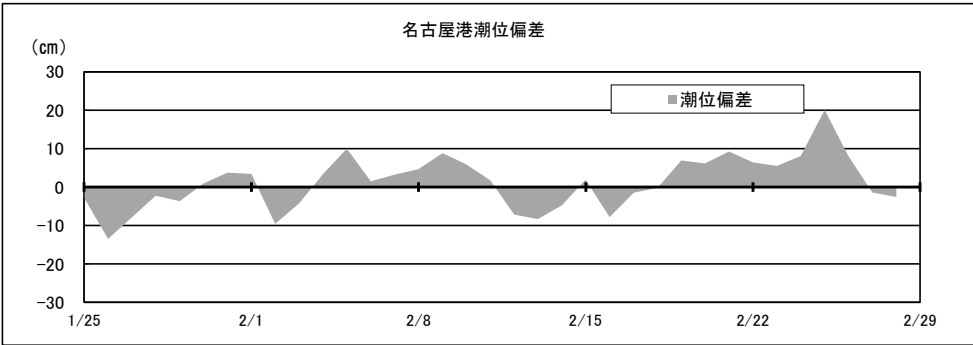
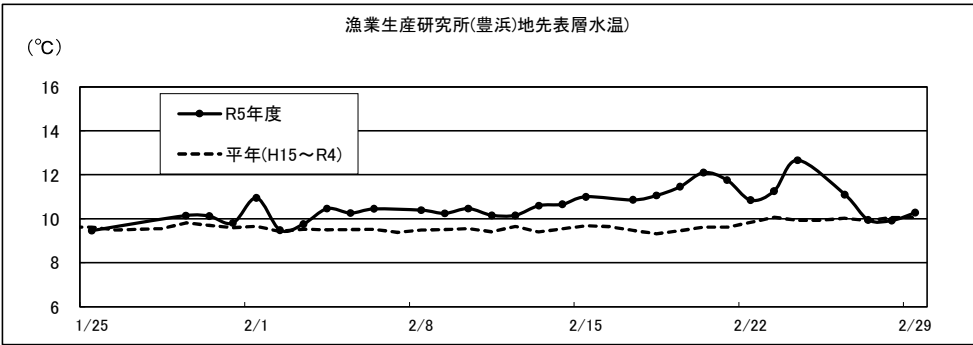
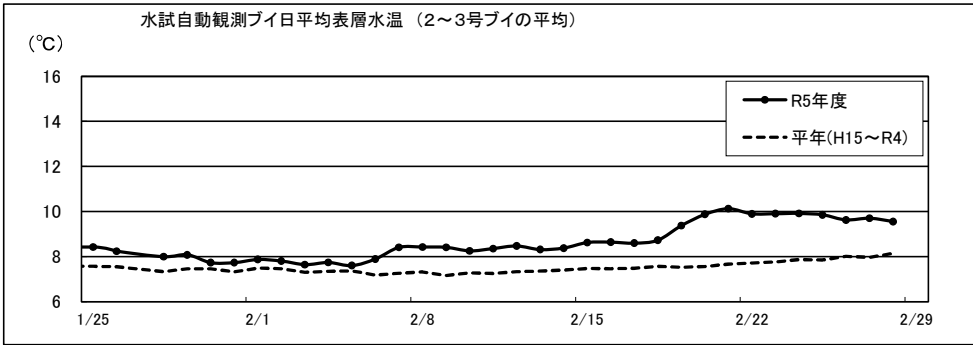
4 今後の管理

- あかぐされ病蔓延防止のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することができます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
令和5年度の「のり養殖情報」は今回で終了です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：2月29日（木）、東三河：調査終了
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会